



キンレンカ(金蓮花) 花言葉：愛国心、勝利

四万十川ニュース Vol.119

中村河川国道事務所 平成30年3月16日



パネルディスカッション



会場全体

幡多地域生態系ネットワークシンポジウム

国土交通省中村河川国道事務所は、幡多地域におけるネットワークの形成により、貴重な生態系を保全し地域の魅力・活力を高めるための取り組みが推進できるよう、平成30年1月13日(土)に四万十市においてシンポジウムを開催しました。

基調講演では、兵庫県豊岡市より、官民連携によるコウトリの野生復帰の取り組みが地域活性化につながった事例について紹介頂きました。その後、幡多地域の黒潮実感センター(大月町)、砂浜美術館(黒潮町)、トンボと自然を考える会(四万十市)より、生態系の保全に向けた協働の取り組みや自然(資源)を活用した地域への貢献等について紹介頂き、幡多地域の貴重な自然を再認識し保全していくことの重要性を共有しました。

また、パネルディスカッションでは、「地域と共生する魅力的な地域づくり」をテーマに意見交換を行い、多様な主体による協働の形づくりの方向性など、魅力ある地域づくりに向けた論議がスタートしました。

四万十川花紀行 菜の花まつり

四万十川の入田ヤナギ林で、平成30年3月10日から四万十市恒例の「菜の花まつり」が開幕しました。「四万十川自然再生事業」による河畔林の伐採・間伐で菜の花がたくさん咲くようになった入田地区ですが、今年は菜の花の開花が遅れています。そのため、来場者はおなじみの風景がないことに少し残念そうにしていました。しかし、地元入田地区や幡多地域の味覚に舌つづみを打ちながら会場の奥まで歩いてみると、四万十市のシンボル「赤鉄橋」(四万十川橋)を臨む場所に黄色いお花畑が広がっており、皆さん、笑顔で写真に収めていました。また、環境保全と防災のエリアでは、大人たちは自然再生や堤防・ダム事業などのパネルをじっくりと眺め、子どもたちは土石流や豪雨の体験、ミニバックホーの試乗などの体験コーナーを何度も巡って楽しんでいました。



堀内佳さんと
具同保育所園児による
ぶしゅかんサンパダンス



巣箱作り体験



四万十川PR



防災植物学習



地域物産展



エビタマづくり体験



ミニバックホー体験

四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは
中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

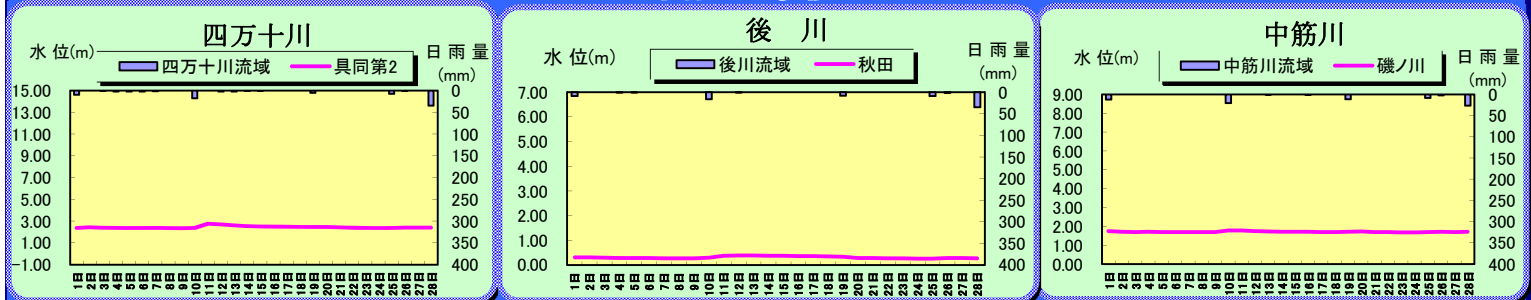
「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも
掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

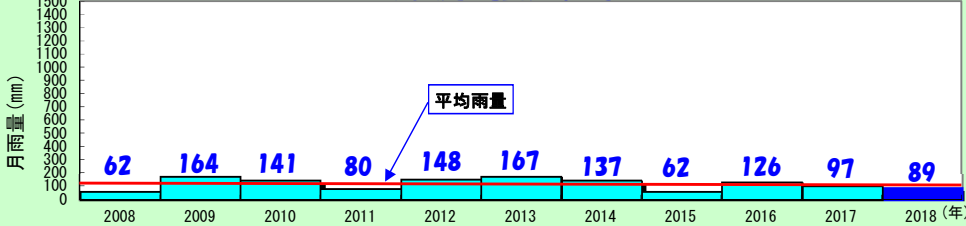
2月の四万十川の様子



雨量・水位データ



流域平均雨量(2月)



2月の四万十川流域平均雨量89mmは平年の0.8倍程度の雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は118mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

